

令和6年度 つながりひろがる 地域づくり事業 成果報告書

安曇野市役所 市民生活部 地域づくり課

TEL 0263-71-2494

MAIL chiikizukuri@city.azumino.nagano.jp

過去の成果報告書はHPから
見ることができます。



目 次

No.	事業名	実施団体名	ページ
1	安曇節推進保存事業	安曇節推進保存連絡協議会	2
2	安曇野の農家さん応援♡笑顔の料理教室	一般社団法人 笑顔の花	4
3	ウォーキングサッカー	WS安曇野	6
4	臼井吉見と安曇野に生きる	臼井吉見文学館友の会	8
5	ボッチャで安曇野をバリアフリー社会にしよう	つむぐ広場ココクル	10
6	安曇野歴史サロン	安曇誕生の系譜を探る会	12
7	安曇野案内人倶楽部「ふるさとさんぽ」	安曇野案内人倶楽部	14
8	いのち育む田んぼ暮らしをはじめよう！！	Three tiny seeds	16
9	古文書等から読み解く地域の歴史文化遺産の継承事業	下鳥羽の古文書を読む会	18
10	「叙情を歌う」～語りと音楽で～	あづみ野寺子屋塾	20
11	視覚的支援シェアサークルあいらんど！定例学習会	視覚的支援シェアサークルあいらんど！	22
12	ききCafé	ききCafé	24
13	イエナ式おうち探究塾	ママの働き方応援隊信州中央校	26
14	AZUMINOプレーパーク	特定非営利活動法人 GRIT BASE	28

事業名 安曇節推進保存事業

団 体 名	安曇節推進保存連絡協議会		
代 表 者 名	佐伯 治海	構成人数	17名
活動拠点所在地	安曇野市穂高8193-8		
事業実施総額	120,000円	補助金額	75,000円
主な補助金使途	発表会謝礼・事務用品・チラシ作成・通信費・賞状作成・コピー代		
事業実施日・期間	2024年4月20日～2025年2月3日		
事業目的 概要 成果	1, 事業の目的 優れた新作安曇節歌詞の募集・発表・保存・安曇節顕彰のための諸事業を行い、地域の宝である安曇節を保存・発展させ、未永く後世に伝えて行くことを目的として、活動を進めてきた。 2, 事業概要 ①4月20日(土) 穂高会館で連絡協議会総会を開催、1年の活動を開始。 ②6月17日から7月24日の期間で新作歌詞を募集した。市内の公民館や公共施設・国営公園等にチラシを配置。市内小中学校には、校長会の場をお願いをし、市内5校高校を訪問して、校長先生に協力をお願いした。 ③歌詞募集の結果、一般部門164句、学生部門283句の応募があり、8月28日選考委員会を開催し、各部門10句を入選句として選定した。 ④8月3日(土) 本会会員は、穂高納涼祭のステージ発表と9月29日(日) 穂高交流学習センター“みらい”で開始されたあづみの市民フェスタのステージ発表に出演し、昨年の入選句を市民に披露した。 ⑥10月6日(日) 国営アルプスあづみの公園を会場に新作歌詞入選者の表書式・披露・アトラクションなど実施し、今年の活動の締め括りとした。 3,成果 ①応募歌詞数は、一般の部は昨年よりわずかに下がったが、学生部門が、昨年度の130句に比して2倍以上の283句の応募があり、若者（多くは小学生）の関心の広がりを感じた。 ②今年新たに参加した市民活動フェスタや国営公園の無料開放日に発表会を行ったことで、市民・市外の方へのアピールを行うことができた。		
今後の展開	・2年間活動をした中で、安曇節の認知度が極めて低いと感じている。急激に認知度が上がることは考えられないが、安曇節をアピールする活動を進めていきたい。また、会員増も今後の課題である。 ・来年度は、安曇野市市制施行20周年の年であるので、安曇野市を題材にした歌詞も広く募集していきたい。		

今年度の活動



4月20日 安曇節推進保存連絡協議会総会
本年度の活動を開始する。



募集チラシ完成。市民タイムス間にも掲載し
ていただき6月17日より新作歌詞募集開始



8月3日 穂高納涼祭ステージ発表に会員の歌
・三味線・尺八の伴奏と踊りで披露



9月17日、市民活動フェスタ出演に向けて穂
高会館で歌・伴奏・踊りの練習



9月29日 あづみの市民活動フェスタに出演
(穂高交流センター“みらい”)にて



10月6日 国営アルプスあづみの公園堀金穂
高地区で入選者表彰式・発表会



10月6日発表会 入選歌詞を三味線・尺八・太
鼓の伴奏で歌と踊りで披露する



10月6日発表会 アトラクションで「ナ
ウ・バージョン安曇節」を演奏

事業名 安曇野の農家さんを応援♡笑顔の料理教室

団 体 名	一般社団法人 笑顔の花		
代 表 者 名	茅房 栄美	構成人数	12 人
活動拠点所在地	長野県安曇野市豊科 4932 番地 13		
事業実施総額	300,000 円	補助金額	225,000 円
主な補助金使途	講師謝金、需用費、施設使用料		
事業実施日・期間	令和 6 年 8 月～令和 7 年 3 月		
事業概要・成果	■事業の目的と概要 私たちが暮らす安曇野で食を通じて農家さんを応援します。子どもたちと一緒に地域の食材を使った料理教室を行います。安曇野の農家・生産者さんの話や食育、命の学びに繋がります。障がいの有無に関わらず支え合うインクルーシブや共生、多世代交流を楽しみ、子どもをまんなかに安心できる居場所づくりを目指します。 ■成果 原材料で使われている野菜や卵などの農家・生産者さんの話や写真を使って飼育されている様子を知るなど食育を学ぶ時間。身近でがんばっている地域の農家さんを知る機会となりました。野に放たれた鶏を見て自然の中でのびのびと生きている様子を眺めながら、料理教室を楽しみ、命のつながりを感じる特別な時間を体験できました。ひとつ一つの工程をゆっくりと素材の特性を感じながら調理する手間暇の大切さを実感しました。家庭ではできない料理を講師と一緒に実践し、完成できた感動や喜びがとても嬉しかったです。一緒に料理をすることで自身が湧きお家でもチャレンジしたいとの声がありました。料理をつくる過程で、子ども達のアイデアで自由な形やアレンジに変化していきました。参加者同士で地域の特産や農産物など食を通じた話題の情報交換で盛り上がるなど地域が繋がる多世代交流の場ともなりました。私たちの命を繋ぐために、農産物を育ててくれた農家さんに感謝の気持ちをみなさんと共有できて幸せな時間でした。		

今後の展開	地域住民が楽しく集いつながり、世代を超えて交流できる喜びを味わえる居場所の大切さに気付かされました。食を通じて、安曇野市の良さを改めて実感したり、情報交換や共有・おしゃべりの場を広げて行きたいと感じました。心が繋がるコミュニケーションの場所の必要性や時代のニーズも感じています。おいしい楽しいところには人が集まり助け合えれば地域課題も解決できる場づくりを目指します。
本年の活動	■米粉シフォン&ガレット教室 安曇野の産の米粉と卵を原材料の米粉シフォンケーキと旬の野菜を包んだガレットを焼いていただきます。  開催地の Migrant さんの自家製の野菜、有明の平飼卵を使用。庭に放し飼いの鶏さんを眺めながら食べ物の有難さを噛み締めました。 ■安曇野産の地粉でベーグルを焼こう 安曇野の地粉つくられた生地を使い、ベーグルを焼きます。焼いたベーグルに旬の野菜とミクリトーンさん手作りの具材をサンドウィッチして美味しくいただきます。  小学生からおばあちゃん世代が集まる地域交流の場、食に関する話題や雑談を交えて学びながら、ベーグルが焼き上がり見た目もおいしくおしゃれに仕上がり、想像以上の出来栄に笑顔になりました。 ■ミカチさんのスパイスカレー教室 地元で採れたお野菜などの食材と基本の4種類のスパイスを使ってカレーを2種類作ります。  小麦粉を使わないスパイスカレーづくりに初挑戦！お家では作れない味付けや感覚的な調理法など学び深い時間でした。教室を通じて人と人がご縁できる地域がつながれる笑顔と感謝いっぱいの時間でした。

事業名 ウォーキングサッカー

団 体 名	WS 安曇野		
代 表 者 名	山田 武司	構成人数	70 人
活動拠点所在地	安曇野市豊科		
事業実施総額	300,900円	補助金額	225,000円
主な補助金使途	施設使用料、チラシ印刷代、備品、消耗品		
事業実施日・期間	令和6年4月～令和7年3月		
事業概要・成果	次ページ参照		
今後の展開	・参加者の増員 ・開催回数の増加 ・スポーツ保険の加入 ・運営スタッフの増員 ・外部イベントでの開催		

事業概要・成果

【通常開催】

月に2～3回 20回開催 ※令和6年4月～令和6年12月時点

《参加人数》

約 300名(リピーター込み) リピーター率95%以上

《参加者詳細》

障がい有無関係なく 年齢2歳～76歳 (体幹障がい・聴覚障がい・知的障がい)

楽しく適度な運動ができて、
みんなが優しく居心地の良い場所
と、喜んでいただいています。

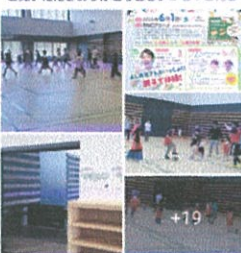


【イベント開催】

安曇野スポーツフェスティバル

Ws安曇野(ウォーキング サッカーあづみの)で元気になろうよ！
6/12日

皆さんおはようございます。
ご覧いただきありがとうございます。もっと見る



パラスポーツ体験会(松本) 大町体験会

Ws安曇野(ウォーキング サッカーあづみの)で元気になろうよ！
5/12日

皆さんおはようございます。
ご覧いただきありがとうございます。もっと見る



Ws安曇野(ウォーキング サッカーあづみの)で元気になろうよ！
7/12日

皆さんおはようございます。
ご覧いただきありがとうございます。もっと見る



高齢者体力作り(松本市)

Ws安曇野(ウォーキング サッカーあづみの)で元気になろうよ！
2024年10/19日

皆さんおはようございます。
ご覧いただきありがとうございます。もっと見る



安曇野市市民活動団体とコラボ

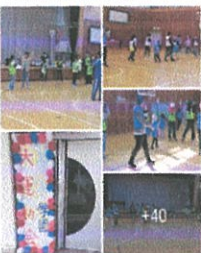
Ws安曇野(ウォーキング サッカーあづみの)で元気になろうよ！
2024年7/20日

皆さんおはようございます。
ご覧いただきありがとうございます。もっと見る



Ws安曇野(ウォーキング サッカーあづみの)で元気になろうよ！
2024年11/1日

皆さんおはようございます。
ご覧いただきありがとうございます。もっと見る



安曇野市市民活動フェスタ2024年



Ws安曇野(ウォーキング サッカーあづみの)で元気になろうよ！

2024年10月1日

皆さんおはようございます。
ご覧いただきありがとうございます... もっと見る



最高年齢 89歳

事業名 臼井吉見と安曇野に生きる

団 体 名	臼井吉見文学館友の会		
代 表 者 名	佐々木重昭	構成人数	155人
活動拠点所在地	臼井吉見文学館 安曇野市堀金烏川2701		
事業実施総額	225,390円	補助金額	165,000円
主な補助金使途	講師謝礼、チラシ・会報印刷費、インク、コピー用紙、会場費、通信費		
事業実施日・期間	毎月1回開催の定例学習会6団体、公開シンポジウム（11月24日）		
事業概要・成果	1 事業の目的等 ①臼井吉見が大切にしてきた多様な考えを持つ人との対話することの意味や価値について、臼井が残した記録をもとに学び合う。 ②現代社会が持つ同調性や排他性に対する課題意識を持つ。 ③ひとつのテーマについて異世代の人と情報共有をすることにより、自身の知見を深める。 2 事業の具体的実施内容 ①学習会（・筑摩書房草創期を語る ・『自分をつくる』『どんぐりのへた』を読む ・『堀金村誌』を読む ・安曇野の人びとを語る ・臼井吉見関連本を読む ・臼井吉見と学ぶ会）を毎月1回開催する。 ②公開シンポジウム（11月24日）を開催する。 ③友の会だより「常念とれんげ」を年3回発行することにより、市民に、友の会の取組を広報する。 3 成果 ①事業の実施により、共通テーマのもとに、多様な考え方を持っている人との対話の機会を設定し、参加者の知見を深めることができた。 ②公開シンポジウム参加者36人から満足度88.5%を得ることが出来た。 ③10代から80代に渡る参加者による、異年齢のグループディスカッションを意図的に仕組むことにより、参加者が「当事者意識」を熟知する中で理解度を深めることができた。		
今後の展開	・今年の事業の継続を望む声が多い。次年度も広く周知を図りながら実施したい。 ・学習会への参加者を待つというスタンスでなく、学校教育や公民館活動などの社会教育と協働した取組を展開したい。 ・広報の充実を図り、友の会の取組を広く市民に周知する取組をすすめたい。		

本年の活動

○学習会

- ・筑摩書房草創期を語る会（第1木曜日）
- ・『自分をつくる』『どんぐりのへた』を読む会（10日）
- ・『堀金村誌』を読む会（第3木曜日）
- ・臼井吉見と学ぶ会（第2日曜日）
- ・安曇野のひとびとを語る会（第3日曜日）
- ・臼井吉見関連本を読む会（第4木曜日）

○会報「常念とれんげ」の3回の発行

○公開シンポジウム ＜基調講演＞

「「当事者」とはだれか？—近現代日本の経験から」

（大串潤児さん：日本歴史民俗博物館教授）

- ・11月24日（日）
13:30～15:30
- ・堀金公民館講堂
- ・36人の参加
- ・満足度：88.5%



臼井吉見文学館友の会だより「常念とれんげ」を3回（5月、9月、1月）発行し、図書館や公民館などに配布し、市民の皆さんに取組の紹介をしました。



昨年より開設の「臼井吉見と学ぶ会」。今年は、信州大学生の提案「戦争経験の劇化と継承の文化史的研究」「女性の生き方（清澤淵『モダンガール』に寄せて）」を高校生も交えて考え合いました。

「「当事者」をさがせ！」をテーマにシンポジウムを開催しました。

○参加者の声

・中学生：新しい視点から当事者というものを見つめることが出来て良かったです。

・高校生：今まで当

事者とは誰か、今の社会はどう？など、ということについて考えてきませんでした。そのようなことについて考え、話し合う機会ができてとても良かったです。

・大学生：自分の生き方を考える良いきっかけとなりました。

・教員：普段多世代で交流することはあっても、ディスカッションする機会はないので、面白かったです。

・一般：中高生から祖父母世代までが、立場を超えて話し合える場があることがすばらしい。

事業名 ボッチャで安曇野市をバリアフリー社会にしよう

団体名	つむぐ広場ココクル		
代表者名	松永 広枝	構成人数	7名
活動拠点所在地	安曇野市穂高有明		
事業実施総額	182,837円	補助金額	123,000円
主な補助金使途	ボッチャ備品購入、団体タペストリー・チラシ作成、交流体験会講師代など		
事業実施日・期間	R6年4月からR7年3月		
事業概要・成果	1, 事業概要 目的：地域の障がい者、高齢者一般の方々がボッチャなどのパラスポーツを気軽に楽しみながら外出し、交流する場を提供することで、参加者の健康維持や社会参加意識を高め、安曇野市のバリアフリー社会、多様性を尊重した共生社会の一助とすることを目的として事業を実施した。 ＜事業内容＞ ・ボッチャ練習会（毎月1回） ・交流体験会2回 ・ボッチャ体験会 ・地域の交流大会参加に向け練習試合 2, 事業成果 ・ボッチャ公式セット、モルックセットを購入し練習で活用した。 ・団体タペストリー、チラシを作成し活用した。 ＜練習会＞ 4月28日、5月26日 6月23日、7月20日 8月25日、9月15日 10月13日、11月3日 12月15日、1月19日 2月9日、3月8日 練習会参加者数 平均 16人 うち障がい者 平均 6.2人 新規参加者 平均 2.6人 昨年に比べ参加者数が増加し、特に障がい者の参加が増えた。障がいの内訳は身体障がい（四肢・体幹、聴覚、視覚）知的障がい、精神障がいなど多様な背景の方が参加され、多様性を尊重した活動となった。 7月20日 ウォーキングサッカー体験交流		



><交流体験会> <ボッチャ体験会> <練習試合>	講師：ウオーキングサッカー安曇野 山田さん 参加者：20人 12月25日 モルック体験交流 講師：パラスポーツ指導員 中条さん 参加者：23人 10月26日 日赤病院祭にて リハビリテーション科と協力して実施 参加者 116人 地域の病院祭であり、ボッチャを多様な地域の方々に知って楽しんでもらえた。 11月9日 VS 明南小学校ボッチャクラブ 参加者：38人（小学校から13人） 大会に向けて練習し、小学生と交流した。 地域の障がい者や高齢者が、小学生の活動を応援するという立場で支援者としても活動ができた。 練習試合後に応援プレゼントを渡しました。
今後の展開	・会場費は寄付金を活用したが、資金面での課題がある。継続した活動に向け、参加者の会員制度を検討し、年会費で資金を募る方向としたい。 ・新しい体験は皆さん興味を示し、その後の活動の広がりにもつながっている。継続して新しい体験会を企画し、参加意欲を高めたい。 ・地域の他団体と交流は地域でのつながりを広げることになっている。 今後、交流会では参加者にも活動のサポート役を担っていただき、役割を持った自主的な参加を促したい。

事業名 安曇野歴史サロン

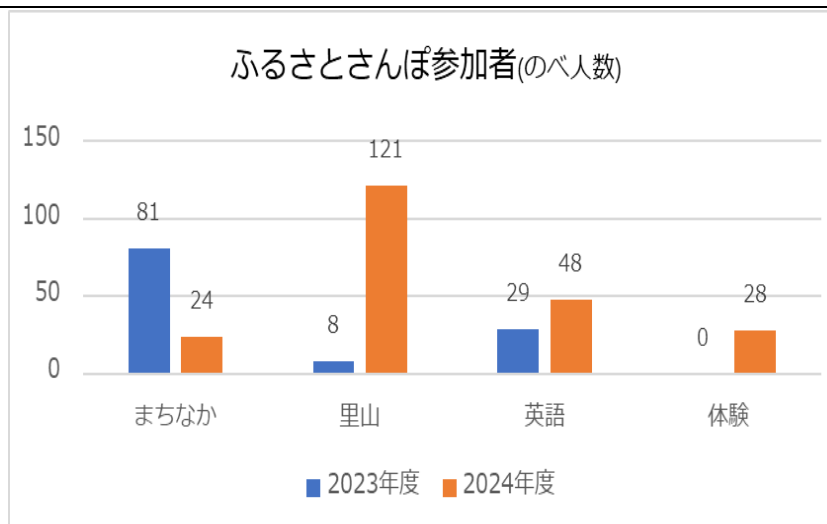
団 体 名	安曇誕生の系譜を探る会																																						
代 表 者 名	百瀬新治	構成人数	72 名																																				
活動拠点所在地	安曇野市内公民館																																						
事業実施総額	214,900	補助金額	119,000																																				
主な補助金使途	講師謝礼及び資料製作費																																						
事業実施日・期間	令和 6 年 5 月～令和 7 年 3 月																																						
事業概要・成果	・ 様々なテーマによる歴史サロンを令和 6 年 5 月から令和 7 年 1 月までに計 9 回開催し、合計 4 7 9 名の参加者があり、6 名の新入会員を得ることができた。 <table border="0"> <tr> <td>5 月 1 8 日</td><td>安曇族の実際の姿はこれだった</td><td>百瀬新治</td><td>7 5 名</td></tr> <tr> <td>6 月 3 0 日</td><td>八面大王伝説と安曇野開拓</td><td>百瀬新治</td><td>5 5 名</td></tr> <tr> <td>8 月 2 5 日</td><td>観松院の弥勒菩薩像の謎</td><td>奥原国乗</td><td>5 8 名</td></tr> <tr> <td>8 月 2 8 日</td><td>観松院の弥勒菩薩像現地見学会</td><td>奥原国乗</td><td>2 0 名</td></tr> <tr> <td>9 月 2 1 日</td><td>浮世絵の魅力と楽しみ方</td><td>五味あずさ</td><td>3 3 名</td></tr> <tr> <td>10 月 19 日</td><td>仁科氏の盛衰</td><td>荒井今朝一</td><td>5 8 名</td></tr> <tr> <td>11 月 24 日</td><td>木曾義仲とその家臣団</td><td>村石正行</td><td>6 1 名</td></tr> <tr> <td>12 月 2 1 日</td><td>明科の古代を深掘りする</td><td>原明芳 他</td><td>6 8 名</td></tr> <tr> <td>1 月 2 5 日</td><td>狛犬誕生の歴史と物語</td><td>高松伸幸</td><td>5 1 名</td></tr> </table> ・ 9 回のうち会員以外の 7 名の講師に講演をお願いすることができ、参加者の関心の幅を広げることができた。 ・ 明科いいまちつくろうかい及び明科公民館との共催事業として「明科の古代を深掘りする」と題した講演会と発掘担当者による座談会を開催し、地元明科の多くの方々に参加いただけた。			5 月 1 8 日	安曇族の実際の姿はこれだった	百瀬新治	7 5 名	6 月 3 0 日	八面大王伝説と安曇野開拓	百瀬新治	5 5 名	8 月 2 5 日	観松院の弥勒菩薩像の謎	奥原国乗	5 8 名	8 月 2 8 日	観松院の弥勒菩薩像現地見学会	奥原国乗	2 0 名	9 月 2 1 日	浮世絵の魅力と楽しみ方	五味あずさ	3 3 名	10 月 19 日	仁科氏の盛衰	荒井今朝一	5 8 名	11 月 24 日	木曾義仲とその家臣団	村石正行	6 1 名	12 月 2 1 日	明科の古代を深掘りする	原明芳 他	6 8 名	1 月 2 5 日	狛犬誕生の歴史と物語	高松伸幸	5 1 名
5 月 1 8 日	安曇族の実際の姿はこれだった	百瀬新治	7 5 名																																				
6 月 3 0 日	八面大王伝説と安曇野開拓	百瀬新治	5 5 名																																				
8 月 2 5 日	観松院の弥勒菩薩像の謎	奥原国乗	5 8 名																																				
8 月 2 8 日	観松院の弥勒菩薩像現地見学会	奥原国乗	2 0 名																																				
9 月 2 1 日	浮世絵の魅力と楽しみ方	五味あずさ	3 3 名																																				
10 月 19 日	仁科氏の盛衰	荒井今朝一	5 8 名																																				
11 月 24 日	木曾義仲とその家臣団	村石正行	6 1 名																																				
12 月 2 1 日	明科の古代を深掘りする	原明芳 他	6 8 名																																				
1 月 2 5 日	狛犬誕生の歴史と物語	高松伸幸	5 1 名																																				
今後の展開	・ 2 月度歴史サロン 2 月 24 日 安曇野の神社と鬼伝説 ・ 3 月度歴史サロン 3 月 22 日 安曇族と明科廃寺の謎 ・ 新しい歴史テーマを設定して広く講師を依頼する。 ・ 若年層を対象とした考古学関連のワークショップを実施する。 ・ 他団体との連携して多くの市民の歴史への関心を喚起する。 ・ 講演内容の理解を深めるためのフォローアップ勉強会を開催。																																						

事業名 安曇野案内人倶楽部「ふるさとさんぽ」

団 体 名	安曇野案内人倶楽部		
代 表 者 名	高松 伸幸	構成人数	20 名
活 動 拠 点 所 在 地	安曇野市穂高 5971-1		
事 業 実 施 総 額	399,500 円	補助金額	105,000 円
主 な 補 助 金 使 途	「ふるさとさんぽ」実施の為に案内、配布資料のコピーと消耗品購入		
事業実施日・期間	令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日		
事業概要・成果	ふるさとさんぽと題して安曇野の良さを再発見していただくツアーを企画。今年は多様なニーズに答えるために「まち歩き」「山城探訪」「英語でガイド」「体験版」を開催した。 現在まで 16 のコース（2 月 10 日現在・あと 3 コース予定）に 221 名の方に参加いただき、安曇野の歴史や文化遺産の再認識ができた。 その中でも今年は特に「英語でガイド」に力を入れた。地元の小・中・高校生に向けて、安曇野の観光スポット・地形や歴史・伝統文化や名産品・人々の暮らしなどを学んでもらい、インバウンド客を対象に、自分が習った範囲の英語でガイドすることを目的としたレッスンツアーであるが、実際は英語に興味がある一般の大人たちに人気であった。リピーターも増えている。 しかし、当初の目的どおりに、小学生や中学生が参加した回もあり、今後に期待もできるように思う。 もう一つの目的は、地元在住の外国人の参加を募り、安曇野をよく知ってもらおうというものであるが、こちらも、人数は少ないが、実際に参加者を迎えることができた。次年度にもつながるよう今後も積極的に声がけしていきたいと考える。		
今後の展開	活動の質・量とものアップを目指す。まずは会員の知識向上やガイドスキルのレベルを上げるために、来年度は勉強会も取り入れていきたい。どのツアーも集客にばらつきが見られるので、有効な告知方法を考えていく。「英語でガイド」の更なる充実については、教育委員会を通じて探求学習としてモデルレッスンが実現できないかを模索。また、他団体（AIN など）と協力し、地元在住外国人にも告知していきたい。		

2024 年度 実施報告

2023 年、2024 年 参加者比較



総数 2023 年度 118 名 2024 年度 221 名 (2 月 10 日現在)

まちなかは実施回数が 9 回→3 回と少なかった為参加人員が減少したが、他は回数、参加人数とも前年を上回った

ふるさとさんぽ

各コースの様子



「英語版道祖神」 穂高神社
塩の道道祖神でレッスン



「まちなか」信玄が築いた城館都市豊科真々部



「英語版蕎麦打ち体験」
安曇野の郷土食そばを学ぶ



「英語版蕎麦打ち体験」
実際に打ってみました



「体験版わさび漬」
わさび畑を見学後体験



「里山」山城探訪ツアー
平瀬城山頂にて

事業名 いのち育む田んぼ暮らしをはじめよう！！

団 体 名	～北アルプス農的暮らしのコミュニティベース～Three tiny seeds		
代 表 者 名	小畠 千奈都	構成人数	15人（会員）
活動拠点所在地	安曇野市穂高柏原 田んぼ		
事業実施総額	467,325 円	補助金額	300,000 円
主な補助金使途	謝礼、施設利用料、備品購入、燃料費等		
事業実施日・期間	令和6年4月1日～令和7年2月21日		
事業概要・成果	目的）持続可能な暮らしを通して地域の風土、自然環境を守り育み、美しい安曇野の自然環境と農村文化をこどもたちの未来につなぐ。 ◇成果◇ ・「農的暮らしのコミュニティ田んぼ」年間通した環境再生型稲作の実践と交流会を実施。 こどもや子育て世帯も参加しやすいコミュニティベースでの自然栽培の稲作を通し、文化継承と環境保全について学び実施した。また耕作放棄地をどう再生していくか、自然栽培の稲作を通して学びと体験の実践拠点として活動を行った。会員以外にも、未入会ながらスポット参加の方も多く、特に子育て世代に稲作文化の魅力と循環再生型農業について情報発信し、体験を通して学びを深めた。限りある資源を循環させ、土壌再生、健全な生態系、自然環境保持を重視し、農薬、化学肥料に頼らずに環境再生を促していく実践と学びとなった。1年間通して自然栽培のお米づくり活動をしたことにより、一時的なイベントで終わるのではなく、暮らしの中での営みとして自然の循環システムと人の営みの関わりを感じた。季節の手仕事も楽しみ、自然とともにある暮らしを味わった。また、多くの地域市民との交流機会が持て地域コミュニティの活性化とつながった。アンケート結果からも満足度が高く、参加者の稲作を通して、お米作りが環境とどう関わりがあるのかなど、地域の環境問題や食と農の課題などへ意識の変化が得られた。これをきっかけに地域の農地保全、環境再生などに若い世代が関心を持つ一助となれ、来年も実践したいという声が多かった。 【主な作業】・種まき・育苗・荒起こし・田植え 6/9（大人 15、こども 21人）・除草 5回、畔草刈り適宜・稲刈り、はぜかけ 9/21, 10/5 ・脱穀 ・秋起こし 【イベント】季節に合わせて・4/13 はじまりの会（春の草だんごづくり）、11/10 収穫感謝祭、12/22 薫細工とクリスマスの集い。 【その他】8/9 夏祭り流しそうめん		

   	「環境再生へアプローチするお米づくりポイント実践講座」 慣行栽培から有機農業へ移行を考えている方、耕作放棄地を再生し稲作をはじめたい方、リジェネラティブ農業の在り方を学びたい方へのサポート、学習、実践相談の場とした。 講師： 公共財団法人 自然農法国際研究開発センター 三木孝昭氏 内容： 田んぼにて半日の座学と実習を年３回の連続講座として実施。 日々の作業ごとに地域で実践している有機農家（自然栽培お米作り ZENZENCULB）からも指導を頂く。持続可能で環境負荷が少なく、なおかつ現状維持から環境再生をめざすお米作りのポイントを実践を通して学んだ。耕作放棄地の田んぼを健全な田んぼへ蘇らせていくためのはじめの１年を多くの人と体験共有した。慣行栽培から有機農業へ移行希望者のサポート実践拠点も目指した。ここでの活動を通して、学びをそれぞれが持ち帰り実践していくことで、安曇野の自然環境の保全と再生、稲作文化継承、景観保護につなげていくモデルケースとなった。専門家を招いての実践学習はとても好評だった。実際にこの講座を受けて、慣行栽培から有機栽培へ転換するチャレンジを開始した方がいた。また地域を越えて、遠くは兵庫県からも参加者がいた。アンケート結果からも満足度は高く、今後の実践希望も寄せられた。市民が気軽に集い、自然農についての学ぶことへのニーズは高いと感じた。１年目で自然栽培に興味のある仲間同士が地域でつながりができたことは大きい成果と言える。今後さらに、安曇野の水田環境保全、再生のための理解と実践者が増えるよう情報発信し、来年も活動継続をしたいと考える。 ・ 季節の手仕事講座（草木染め、藁細工） 講師：中野あや氏（安曇野在住） 「8/2：田んぼの畔に生えている葛を刈り、葛の草木染め体験会」 葛と身近な植物でハンカチ、手ぬぐいを染めた。（参加者大人１０名 こども１６名） 「12/22：藁細工の会（正月飾り、藁リースづくり）」 自分たちで育てた稲わらを使い正月飾りを作った。（参加者大人１３名、こども１４名） ～以降今後実施予定～ 「2/21：藁細工の会（２回目）大人の集中講座」開催予定 ・ 食養生講座 2/17開催予定 講師 辻野将之（安曇野在住） 「食と農について～健康への５つの近道～」 現在活動継続中のため途中経過まで報告。
今後の展開	今年の成果を生かし来年度も同様に多くの市民が活動できるようにしていく。田んぼのある暮らしを通して自然環境へ意識を高めていくきっかけとし来年度は生き物観察なども企画したい。また、自然とともにある暮らしを通して季節の手仕事企画も充実させより多くの地域の方々に農的暮らしの魅力と環境再生への意識を浸透させていきたい。

事業名 「古文書等から読み解く地域の歴史文化遺産の継承事業」

団 体 名	下鳥羽の古文書を読む会		
代 表 者 名	西沢洋明	構成人数	12 人
活動拠点所在地	下鳥羽公民館		
事業実施総額	110,000 円	補助金額	82,000 円
主な補助金使途	「大同神社お宮あれこれ」回覧の冊子印刷代金		
事業実施日・期間	令和 6 年 4 月 1 日から令和 6 年 10 月 31 日		
事業概要・成果	計画時予定していた外部講師の講演会は都合できなかったが、文書館企画展への講師参画により、関連事業を含め多くの成果があったと思います。 「大同神社お宮あれこれ」なる冊子を発行し、地域関係者への配付と安曇野市の各図書館及び文書館への寄贈を行い、多くの皆さんから賛同を得られた。 関連事業として、文書館からの要望により「今に繋ぎ、伝えて来た区の史実」企画展に合せ、「文書等からひもとくお宮あれこれ」としての講演会を行い、参加者 37 名から大きな反響もあり、更なる問い合わせを受け、10 月には文化遺産現地視察見学会を行い、曇野古文書勉強会、下鳥羽の古文書を読む会、他一般参加者の皆さん含め 30 名程への現地説明会をおこないました。こちらも大変好評であり、新聞紙面でも報告されていました。		
今後の展開	例大祭はもとより、お宮は各地区の文化遺産であり、文化文芸の拠点であったことへの再認識（「ひと口付け」など）のために、古文書・書籍類を文書館に寄託し、閲覧により多くの皆さまへの研究資料として見ていただき、理解活動をしていきたい。		

「大同神社お宮あれこれ」冊子内容



令和6年7月21日の安曇野市文書館パンフレット

「文書等からひもとくお宮あれこれ」講演会は37名の参加者がありました。また、多くの参加者から好評をいただきました。



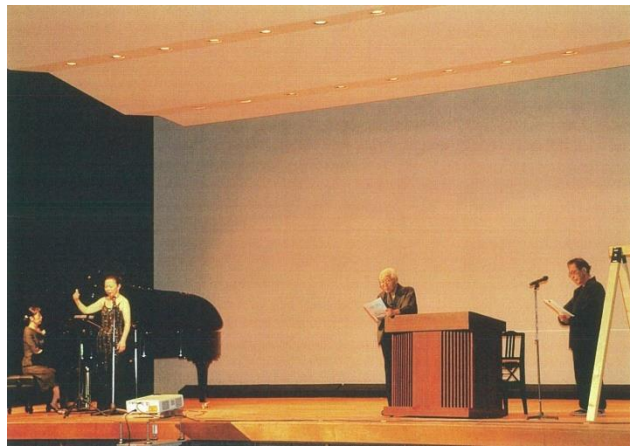
令和6年10月23日 安曇野古文書勉強会と下鳥羽の古文書を読む会合同及び一般参加総勢30名程の現地見学会実施



事業名

「叙情を歌う」～語りと音楽で～

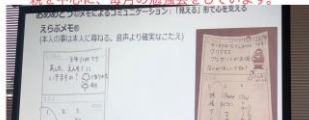
団 体 名	あづみ野寺子屋塾		
代 表 者 名	岡村 哲男	構成人数	5 人
活動拠点所在地	安曇野市三郷		
事業実施総額	496,314円	補助金額	227,000円
主な補助金使途	出演者謝礼、豊科公民館使用料、チラシ・チケット印刷代		
事業実施日・期間	令和6年9月29日		
事業概要・成果	鎮魂の賦・・音楽とともに 95歳・田中欣一先生、日本を語る 令和6年9月29日（日）13：30 開演 場所：豊科公民館 ホール 出演：田中欣一、田口たみ、中島加恵、岡村哲男 同時開催：千葉勢子仏画展 講演会・音楽会入場者…251名 仏画展のみ来場者…約70名 予想以上の方に来場していただき、来場者からは「講演内容がよかった」、「楽曲の選曲がよかった」、「仏画展楽しんだ」等の声が多く聞かれ、概ね好評であった。 来場者は安曇野市を中心に、近隣市町村、飯田市・長野市・木曽・他県からもあった。上原良司や早春賦といった安曇野に関連する話や歌では、涙する人も見られた。 講演会・音楽会・仏画展とともに、来場者（地元の方々を中心に）に満足していただき、文化的な催しとしての達成度は高かった。また事故・トラブルもなくできたことも主催者として感謝している。 講師には戦後の人々の暮らしの変遷を、戦争実体験を交えて語っていただいたが、若い方々の参加が少なく、マスコミ対応を含め今後の課題と考える。		
今後の展開	安曇野市では環境問題に積極的に取り組んでいるので、環境に関連した講演会・音楽会が提供できたら、と考えている。 音楽会や講演会等の良質な催しが、「松本市まで行かなくとも」「安曇野」で楽しんでもらえるように、これからも取り組んでいきます。		



本年の活動



事業名 視覚的支援シェアサークルあいらんど！ 定例学習会

団 体 名	視覚的支援シェアサークルあいらんど！		
代 表 者 名	堂城千絵	構成人数	10人
活動拠点所在地	安曇野市		
事業実施総額	306,000	補助金額	230,000
主な補助金使途	自閉症・発達障害の方々に必須な視覚的支援を学ぶために必要なツール・書籍の購入。チラシ・パンフレット制作 各種定例会・講演会の実施・福祉イベント展示		
事業実施日・期間	令和6年4月10日から令和7年3月31日まで（予定）		
事業概要・成果	<定例学習会> 自閉症・発達障害の方々に必須な視覚的支援を親・支援者が学ぶ <u>毎月：参加者10名～15名（障害の子を持つ親・福祉支援者）</u> ・カレンダー支援：(株)おめめどう巻物カレンダー®・スケジュール支援 ・おめめどう®のコミュメモの紹介 ・スマホ・タブレットでのアルバム・フォルダ整理 画像・イラスト活用 ・便利なアプリの紹介：DropTap®でスケジュール・絵カード作成 ・障害のある方への非常時と支援の工夫（伝える・尋ねる） ・夏休みの過ごし方：時間軸支援で乗り切ろう！ ・強度行動障害について学ぶ ・物理的構造化（カームダウンの方法） ・PECS®（絵カード交換コミュニケーションシステム）について学ぶ ・サポートペーパー（ブック）のおはなし・書き方例  親を中心に、毎月の勉強会をしています。  兄弟の支援は本当に難しい。音声より視覚にこだわる。  初めての方と視覚的支援を学んでいます。  視覚的支援シェアグループ あいらんど！ おはなし学習会開催します！ 10月9日（水）13:00-15:00 ① 場所：安曇野市堀金公民館 安曇野市堀金島川2750-1 注意！場所が10月から変わります！！ 地図 今日は： 市民活動フェスタの振り返り アプリ紹介やフリートーク 初参加の方は、できれば事前に申し込 込みをお願いします。公式LINE、イン スタ、メールどちらからでも！ 連絡先：堂城（たかぎ） eyelandvisualized@gmail.com お知らせ 11月13日（水）13時～15時 自閉症・発達障害視覚的支援ア ドバイザー エンジェル樟子さ んせミナー開催します！！ （SNSにチラシ公開中）		

	<イベントなど> •2024.05:兵庫県(株)おめめどうイベントにチラシ・実践例展示 •2024/8:あづみの FM 出演 •2024/9/29 :安曇野市市民活動フェスタ出展 •2024/11/13: 自閉症・発達障害 視覚的支援セミナー エンジェル暢子さん「なやみがみえる相談会～絵になる言葉とならない言葉ワークショップ」30名の参加者による、本人のための本当の支援:講演会を実施 •2024/12/14:信州大学セミナー(本田秀夫Dr.) 門 眞一郎Dr.の「ASDの人への視覚的支援 PECSを中心に」での視覚的支援の実践例の展示・ •2025 年 2 月:中信地区セミナー「強度行動障害について ～現状と課題～」にあいらんど！パネル&視覚的支援実践例を展示予定 あいらんど！Instagramにて発信しています @eyeland_visualized https://www.instagram.com/eyeland_visualized
今後の展開	2025 年 毎月 第二水曜日に勉強会・ワークショップ予定 講師を呼んでの視覚的支援のセミナーを年1回開催 福祉・啓発イベントなどへの参加

事業名 きき cafe

団体名	きき café		
代表者名	中林 嘉世子	構成人数	10 名
活動拠点所在地	安曇野市明科光 43-1		
事業実施総額	134,000 円	補助金額	106,000 円
主な補助金使途	備品購入・使用食材購入		
事業実施日・期間	2024/6 月～2025/3 月		
事業概要・成果	現代社会が抱える孤独や孤立、孤食の課題に対し、「ワイワイ食べて、豊かにつながる」を目標に、世代を超えた交流の場を提供しています。 月に 1～2 回、北村集会所で「きき Café」を開催し、ランチや喫茶を無料提供するほか、大人も子どもと一緒に楽しめるゲームなどを通じて交流を深めます。また、利用者の声を大切にし秘密厳守を徹底しながら安心して話せる居場所を作るとともに必要に応じて行政支援へつなげる役割も担います。本事業を通じて、地域での温かいつながりを広げていきます。 —開催日・参加人数— ・第 1 回 6 月 22 日（土） 大人 10 名・小学生 4 名 ・第 2 回 7 月 20 日（土） 大人 13 名・小学生 2 名・幼児 4 名 ・第 3 回 8 月 24 日（土） 大人 11 名・小学生 3 名・幼児 4 名 ・第 4 回 9 月 28 日（土） 大人 8 名 ・第 5 回 10 月 26 日（土） 大人 11 名・小学生 4 名・幼児 1 名 ・第 6 回 11 月 30 日（土） 大人 18 名・小学生 4 名・幼児 2 名 ・第 7 回 12 月 21 日（土） 大人 21 名・小学生 7 名 幼児 4 名 ・第 8 回 1 月 25 日（土） 大人 28 名・小学生 11 名		
今後の展開	安曇野市の中でも近隣だけでなく全域の市民の方に知ってもらいほっとできる交流の場を、そしてまた来たいと思ってもらえる場所を作り、関係を築く中で安心して話せる時間を過ごせる場所を目指します。 今現在、参加者が増えてきているので 25 食限で開催しているが 30 食以上に増やしていく事を検討している。また事業開始時は参加費無料だったが物価の高騰により、食材の価格が上がっているため、8 月から参加費を現在大人 200 円・子ども無料としている。今後は参加費値上げも検討中だが子ども無料は継続していきたい。		

活動の様子

きき café

【開催時間】

11：30～14：00

【開催場所】

明科光 北村集会場

【参加費】

大人 200 円 子ども無料

6月22日（土）

メニュー：おにぎり・豚汁・デザート・コーヒー・お菓子



8月24日（土）

メニュー：サラダうどん・スイカ・かき氷・コーヒー



10月26日（土）

メニュー：セルフおにぎり（おかか・昆布・梅干・ツナマヨ）

芋炊き汁・りんご・コーヒー・お菓子

アクティビティ:コラージュ作り・野菜袋作り



11月30日（土）

メニュー：ちらし寿司・おすまし・大根白玉団子・コーヒー

参加人数：大人 18 名・小学生 4 名・幼児 2 名

アクティビティ:ボードゲーム・コラージュ作り・折り紙



事業名

イエナ式おうち探究塾

団 体 名	ママの働き方応援隊 信州中央校		
代 表 者 名	藤原久美子	構成人数	20 人
活動拠点所在地	長野県安曇野市堀金三田 244- 1		
事業実施総額	160000 円	補助金額	120000 円
主な補助金使途	第三の場所作りのための場所代、講師代、保険料等		
事業実施日・期間	令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日		
事業概要・成果	今年度も毎月 1 回は安曇野にて開催し、イクジや SNS を活用し多くの方への周知を徹底し、リピータの方のみならず、多くの新規の皆様にもご参加いただきました。 ママの働き方応援隊の説明会もその場を活用して行い、地域の小中学校への赤ちゃん先生授業の提供を行うためのママディレクターの資格受講された方もあり、家にこもりがちな子育て世代のママたちの新たなコミュニティの場の提供、お悩み解決の場として活用できました。 また新たな試みとして、7, 8 月の二回連続開催の子供たちを中心としたお料理教室では、計画、買い物、調理、盛り付けまで子供たちが主となって行い、普段おうちの方がしてくださっていることへの感謝、買い物をどのようなことを意識してやっているか、調理の楽しさなどを体感でき大変好評でした。 今年度は、一度参加してくださった方が再度参加して下さったり、お友達に声をかけて下さったり、さらには、育児雑誌のイクジなどを通じてお一人で参加くださった方もあり、出会いの輪が広がりました。また、自宅で何度か作りました！家族に好評でした！などといった、普段の生活にも役立つ時間となりよかったです。		
今後の展開	来年度は、3 年目ということで、今後自走していくことを念頭に、お料理教室をママたちで自分たちで運営することや、内容を環境や健康といった大きなテーマに広げて行き、もっともっと幅広い年代の地域の方の学ぶ場として参加いただけるように工夫していきたいと思います。		

2024年4月30日

～糀 cook～

2024年5月31日

～身体にメリハリ！お肌ぷ
るんの高たんぱくメニュー
～

2024年6月19日

～涼やか七夕メニュー～



2024年7月25日

～KIDS イベント

お休み中のおうちご飯にチ
ャレンジ①計画編～

2024年8月7日

～KIDS イベント

お休み中のおうちご飯にチ
ャレンジ②実践編～



2024年9月24日

～時短 cook～

2024年10月22日

～ハロウィン～

2024年11月25日

～クリスマス～



2024年12月10日

～新年を迎えるお正月料理
～

2024年1月31日

～簡単かわいい恵方巻～

2024年2月28日

～糀 cook～



事業名 AZUMINO プレーパーク

団 体 名	特定非営利活動法人 GRIT BASE		
代 表 者 名	中川 菜成	構成人数	11名
活動拠点所在地	塩尻市大門八番町 1-28		
事業実施総額	33,746	補助金額	25,000
主な補助金使途	チラシ印刷代・会場費等		
事業実施日・期間	令和6年4月29日から令和7年3月26日まで		
事業概要・成果	○4月29日 参加者：34組（子ども41名） ○5月26日 参加者：16組（子ども32名） ○7月28日 篠ノ井線廃線跡ハイキング →ガイド依頼不可のため中止。 ○8月7日 明科龍門淵公園 →炎天下の熱中症対策ができないため中止。 ○10月27日 収穫体験 →収穫を予定していた農作物が不作になってしまい中止。 ○11月24日 秋探し・ハイキング ○1月26日 積み木あそび ○2月16日 ANC アリーナ ○3月26日 →スタッフの体調不良のため中止。 ・2回の実施回では天候はあまり良くなかったがその中でも親子でよく遊んでいる家庭が多かった。一方で、遊び方に戸惑う姿やうまく遊べない親子の姿もあり、遊ぶ機会の創出を継続していくことの必要性を感じた。また、参加者からも次回の開催を期待する声が多くあった一方で、参加人数が多いことや年代の幅が大きいことによって全体把握が難しく、個々にアプローチができなかったためか開催の趣旨がうまく伝わらなかった印象があった。 ・全9回を予定していたが、スタッフの体調不良や天候不良・協力団体との折り合いがつかない等の理由により実施が難しくなってしまう回が予想以上に多かった。自然の中で安全に配慮しながら実施するこ		

	との難しさを感じ、想定していたリスク管理が甘かったのではないかと痛感した。 ・また、他団体に依頼することでその辺りの補完や地域資源の活用ができればと考えていたが、話を進めていくと団体の活動の方向性や活動の仕方がそれぞれ違い、イベントを企画する上で双方の利益になるように折り合いをつけるのが難しい部分があることに気づいた。 ・今回の事業を通して他団体との調整・話し合い、現地での下見など行い、地域資源を活用してイベント開催するために必要なことや配慮すべき点などをより具体的に知り、導線をシミュレーションができたのは良い機会になった。
今後の展開	・どうしても屋外だと天候に左右されてしまう部分も大きいため、屋内での実施を検討するなど実施の仕方を検討する。 ・他団体に依頼することによってお互いの相乗効果が生まれたらと考えていたが、安易だったのではないかと感じたので、もう少し事業の形や集客を安定させる段階まで持っていくことに注力した事業の形に縮小する必要がある。 ・また、自然の中で安全を担保してイベント開催するための人員が足りないことも分かったので、関係人口を増やす活動も視野に入れながら取り組んでいくことが必要だと感じた。